

## 2007年ジャカルタ調査報告（地下熱グループ）

2007年8月6日～13日にジャカルタを訪問し、孔井内温度分布の測定、及び孔井内・表層土壌内の長期温度計測を目的とする温度記録計の設置・回収等を行った。

### 1. 参加者

調査チーム：Rachmat Fajar Lubis (Graduate student, Chiba University Japan)  
Robert Delinom (Research Centre for Geotechnology, Indonesia  
Institute of science, LIPI- Indonesia)  
Abdurahman Assegaf (Trisakti University, Indonesia)

現地協力機関（協力者）：

Research Centre for Geotechnology, Indonesia Institute of science,  
LIPI- Indonesia ( Arif Rahmat, Sutarman 他 )  
Trisakti University, Indonesia ( Fauzal Ikram 他 )

### 2. 調査地域

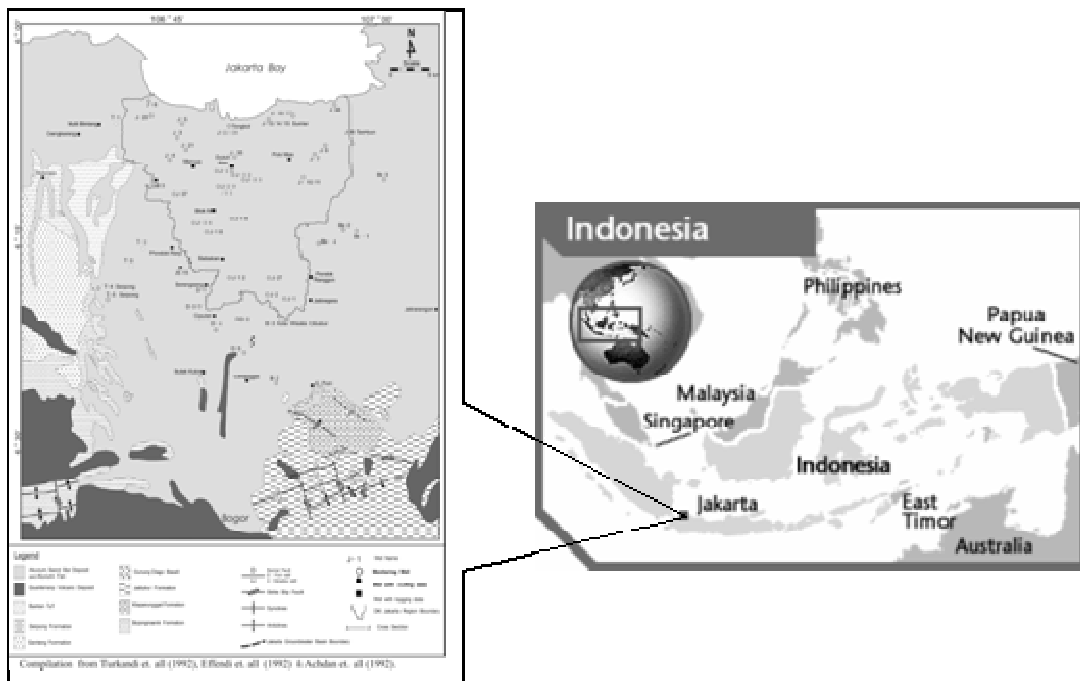


図1 調査地域と観測井の分布

### 3. 調査日程と結果

8月6日 ジャカルタ到着

7日 水位計・水温計のデータ回収と再設置、温度プロファイル計測（J-28）

- 8日 水位計・水温計のデータ回収と再設置、温度プロファイル計測 (J-14)  
水位計データの回収、温度プロファイル計測 (J-6)  
温度プロファイル計測 (J-13, J-15)
- 9日 水位計・水温計のデータ回収と再設置、温度プロファイル計測 (J-12)  
温度プロファイル計測 (J-40)
- 10日 水位計データ回収と温度プロファイル計測 (J-23)  
温度プロファイル計測 (J-38)
- 11日 温度プロファイル計測 (J-29, J-30, J-31)
- 12日 調査結果の報告と議論 (LIPI において)
- 13日 ジャカルタ発
- 14日 帰国

温度プロファイルの測定は、12本の観測井で行った。多くの孔井では、2004年7月、2006年9月の測定とほぼ同じプロファイルが得られ、温度構造が安定していることがわかった。

3地点 (J-12, 14, 28) において、2006年9月に設置した計測装置を回収し、孔内の水温、水位、表層土壌温度のデータを読み出した後、再設置した (図2)。土壌温度の記録計のうち1台は、水に浸かったため、データが得られなかった (図3)。これは、2007年2月初旬の大規模な洪水によるものかもしれない。



図2 孔内温度を計測する水温計からのデータ回収



図3 水にを使った土壌温度の記録計